

進路だより

2019年11月6日
進路指導部

菊花の候 保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。ご覧になった保護者の方もいらっしゃるかもしれませんが、以下は、11月1日に萩生田文部科学大臣から発表されたメッセージです。（文科省 HP「英語民間試験について大臣メッセージ」）

受験生をはじめとした高校生、保護者の皆様へ

文部科学大臣の萩生田光一です。皆様に、令和2年度の大学入試における英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」の導入を見送ることをお伝えします。

大学入試における英語民間試験に向けて、今日まで熱心に勉強に取り組んでいる高校生も多いと思います。今回の決定でそうした皆様との約束を果たせなくなってしまったことを、大変申し訳なく思います。

英語民間試験を予定通り実施するかどうかに関しては、高校生をはじめ多くの皆様から、賛成・反対、様々な意見をいただけてきました。

私としては、目標の大学に向けて英語試験の勉強を重ねている高校生の姿を思い浮かべながら、当初の予定通りのスケジュールで試験を実施するために、連日取り組んできました。

しかし、大変残念ですが、英語教育充実のために導入を予定してきた英語民間試験を、経済的な状況や居住している地域にかかわらず、等しく安心して受けられるようにするためには、更なる時間が必要だと判断するに至りました。

大学入試における新たな英語試験については、新学習指導要領が適用される令和6年度に実施する試験から導入することとし、今後一年を目途に検討し、結論を出すこととします。

皆様が安心して、受験に臨むことができる仕組みを構築していくことをお約束します。

今回、文部科学省としてシステムの導入見送りを決めましたが、高校生にとって、読む・聞く・話す・書くといった英語4技能をバランスよく身に付け、伸ばすことが大切なことには変わりありません。

グローバル化が進展する中で、英語によるコミュニケーション能力を身に付けることは大変重要なことです。皆様には、これからも日々の授業を大切にするとともに、それぞれの目標に向かって努力を積み重ねて頂きたいと思います。

令和元年11月1日

文部科学大臣 萩生田光一

内容にある通り、大学入試センターが成績を集約して各大学に提供する「英語民間資格・検定試験の活用」は中止されました。それに伴い、「共通ID発行申込」も必要なくなり、お子様にご提出いただいた共通ID申込書は、各学校で適切に処分するよう大学入試センターから通知がありました。今後、シュレッダーによる破棄を予定しておりますが、もし返却をご希望される場合は、11月中を目途にお子様を通じて担任または進路までお申し出ください。

保護者の皆様には、共通ID申込書の作成や来年度実施の英検予約申し込みなどご心配、ご負担をおかけしましたことを改めてお詫び申し上げます。

令和3年度から始まる新入試では、「資格・検定試験の成績提供システム」だけでなく他にも変更が発表されるかもしれません。学校では、情報に翻弄されることなく、各自のキャリアデザインのために自分がすべきことをこれまで同様続けるよう伝えてまいります。今後ともよろしく願いいたします。

なお、英検などの「資格・検定試験」は、これまでも多くの大学で入試の判定に活用されています。英検のグレードは一生使えますし、今後ますます英語でのコミュニケーション力が必要とされることは間違いありません。今後も積極的な英検受検をお勧めします。

進路指導部 孕石